
酔漢にささげる 3つの詩

りきてっくす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

酔漢にささげる3つの詩

【Nコード】

N7205F

【作者名】

りきてつくす

【あらすじ】

最近、泡盛に凝ってます。しこたま飲んでから書いてみました。上手くろれつが回ってません（笑）。そんな詩です……（何だ、そりゃ？）

恩讐を越えて

逃げ水を追いかけてアクセルふめば 季節は前から後ろへと 思いは過去から未来へと

世界の果ては滝落^{たるみ}つらしい

雲海のように 煙がもうもう立つらしい

遺書は、もう書いたかい？

書いてなけりや回れ右だ

神はどうやら 口がおごつて 孤児の涙に飢えている
肉体なんか持たないらしい ならば痛みも分かるまいに
願わくば、とこしえに寡黙であらんことを……

ブーゲンビリアよ、咲き乱れよ！

赤児は、やあやあ泣くがよい

夜風にほんのり女が香れば

私は、それで酒がうまいのだから

風がさらった麦わら帽が

過去を越え、記憶を越え、風呂屋の屋根を越え、工場跡の煙突を越え……、そして、もう忘れてしまいたい出の彼方へ……

線路に耳を当て車音を聞けば 空は蒼から緋色^{ひいろ}へと 思いは夢からあせりへと

少女^{むすめ}の瞳にあ魔が棲むらしい

赤い口をあいて 鵜がこうこう啼くらしい

恋文は、もう書いたかい？

書いてなけりや堂々巡りだ

天使はどうやら 頭が悪くて ギロチン台を夢見てる
ときめきなんか感じないらしい ならば悲しみも分かるまいに
願わくば、愛などと口にせぬことを……

ブーゲンビリアよ、咲き乱れよ！

赤児は、やあやあ泣くがよい

潮間^{しおま}に貝殻ひろい集めて

私は、それで夢を紡ぐ^{つむ}のだから

舗装路をかけるスニーカーが

今を越え、明日を越え、交差点の雑踏を越え、埋立地のゴミ山を越
え……、そして、つい見失ってしまいそうな遠い未来へ……

恩讐を越えて……………

恩讐を越えて（後書き）

ありがとうございました。

星のさかずき

金星には、新聞記者が住んでゐて
まいにち取材をするそうです
泣いてる人をさがしては

「悲しいですか？」ときくのです……

火星には、罪人が囚われてゐて
まいにち悔^{かいしゅん}悛するそうです
じぶんの境遇に涙をながし
罪を正当化するやうです……

土星には、政治家が住んでゐて
まいにち嘘をつくのだそうです
えがおでみんなと握手をかわし
その手をハンケチで拭うのです……

それじゃあ、ここにはだれがある？
ここには、私があるじゃないか
本当に、私はここにゐるのか……？

酒杯をかたむけ、火の酒をのどに流しこむ

あゝ本当だ！

私はここにゐるんだ

残念だ

いや、ほんとうに残念だ……

水星には、軍人が駐屯してゐて

まいにち行進するそうです

戦車の車轍しゃてつに水がたまれば

トンボが卵を産むらしい……

木星には、乙女が隠れ住んでゐて

まいにち、さめざめ泣くそうです

たまに茶づけを三杯も喰つて

そのあとやっぱり泣くのです……

冥王星には、幽霊がゐて

まいにち家族を見てゐるそうです

じぶんの遺品が片づくたびに

気持ちが悪さっぱりするそうです……

それじゃあ、ここにはだれがゐる？

ここには、私が住んでゐた

本当に、私はここにゐたのか……？

酒杯をかたむけても中身はからつぽ

あゝ残念だ！

もう、確かめやうがない

残念だ

いや、まったく残念だ……

星のさかずき（後書き）

ありがとうございました。

男と女の鬨ぎあい

チャリーパーカーに背中を押され
あなぐらみたいな、バーの扉をくぐった
さすがに、

シヨットグラス3つも空ければ、心もからだも軽くなる
胃の中で、

ボンベイサファイアが舞踏^{ダンス}してる

雪は、曇天にくるくる回り すだれのように降りそそぐ
あの娘^こが電話でこう言った

ボーンでb5のビショップを取るわ

じゃあ俺は、そいつをナイトで取るよ
いまごろ何をしてるかな……？

エリックサティに後ろ髪を引かれ
またまた暗いバーの扉をくぐった
さすがに、

ウィスキーボトル1本空ければ、心もからだも重くなる
胃の中で、

フォアローゼズが同盟罷業^{ストライキ}してる

雪は、街灯にてらてら光り うるこのようにへばりつく
あの娘が電話でこう言った

ビショップでc6のナイトを取るわ

じゃあ俺は、クイーンサイドにキャスリングだ
いまごろ何処にいるのかな……？

ローバートジョンソンに心を挫かれ

最後のバーの扉をくぐった

さすがに、

もう何も飲めやしない、心もからだも狂いだす
胃の中で、

……もう、何が何だか分からない

雪は、七色に耀きだして メフィストフェレスが笑いだす
あの娘が電話でこう言った

クイーンでb6のビショップを取るわ、チェックよ
じゃあ俺は……

……なんだ、チェックメイトじゃないか

『酔漢にささげる3つの詩』 おわり

男と女の闘きあい（後書き）

お読み下さり、本当にありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7205f/>

酔漢にささげる3つの詩

2010年10月10日07時02分発行